

水俣病問題は全面解決を

水俣病対策については、やはり全面解決をしていただきたい。特措法はできましたけど補償の中身などの詳細はまだ決まっていまません。そのため、今後も県や関係自治体と連携しながら、全面解決に向けて粘り強く国に働きかけていく以外ないと考えていますし、実際にそのように取り組んでいきたいと思っています。

町の未来をつなぐのは教育。町は教育環境の整備を

そして教育についてですが、やはり町の未来をつないでいくのは教育であると考えます。次世代を担う子どもたちをしつかりと育てていくということは、長い目で見れば町にとって最も重要なことだと思います。教育の中身についてはもちろん先生方に頑張っていただかなければなりませんが、行政としてはその環境整備をしつかりやっていくことが役目だと思います。児童数の減少で4月から赤崎小学校を津奈木小学校に統合します。ゆくゆくは平国小学校も統合して一中学校一小学校になるでしょう。そのような状況を踏まえ、昨年は校舎の耐震化事業に取り組みしました。そして現在、津奈木小学校の大規模改修事業や、老朽化した津奈木中学校体育館の改築に取り組むこととしています。

子どもたちを地域全体で育てていくことが大事

子どもの教育については、家庭や地域と役割を分担しながら地域全体で町の宝である子どもたちを育てていくんだということが必要なのでしょね。現在、学校外の活動やクラブ活動などでは多くの町民の方に指導者として頑張ってもらっています。自治会でも子どもたちを巻き込んだ様々な取り組みをしてもらっている。これは本当にありがたいことだと思えますし、町としても出来ることは協力をしていきたいと思っています。

4月から新しい環境での生活がスタートする赤崎小学校の児童や保護者の方に何かアドバイス等あればお願いします。

通学についてはスクールバスを運行しますし、そういったことに關しては出来るだけ保護者の方には不安のないようにしていきたいと思っています。子どもたちにとつては、以前は保育園や幼稚園で一緒だった友達がほとんどだと思えますので、その点は不安はないと思いますが、たくさんの友達の中で競争心を養ってもらいたいと思えますし、何よりたくさんの仲間を作って欲しいと思いますね。これまでなかなかできなかった多人数での団体競技などにも積極的に取り組んで欲しいと思います。

一次は、町民の安全・安心な暮らしのためにどのような対策をお考えかお聞かせください。小さい町だからこそ生まれる安心感を大切に

このことについては、小さな町だからできることがあると信じています。都会のように他人に無関心なのは駄目だと思えますよ。おせっかいかもしれないけれどお隣さんのことを日頃から気にかける。それは空き巣や最近増えている悪徳商法による被害の未然防止にもつながるし、火災や自然災害の際にもとても重要になってくると思えます。お互いがやはり日常生活の中で防犯・防災意識を養っていく。これが重要だと思います。それから組織としては自主防災組織ということで区長さんを中心に取り組んでいただいています。災害等があつた場合には、町は出来るだけ早く情報を流す。そして地域の中で消防団や民生委員さんなどと協力しながらいち早く避難していただく。これが大事だと思います。それから、一昨年から青パトの愛称で呼ばれている「つなぎろっばうパトロール隊」を結成して犯罪防止のための巡回をしていたでいます。ほかにPTAや建設業の皆様方に協力してい

ただき子どもたちを見守る取り組みも始まっていますので、町としても出来ることは協力していきたいと思っています。

最後に津奈木町の未来について、町長の思い(意気込み)などをお聞かせください。

津奈木の一番の宝は人間力。まちづくりにはその力を結集させることが大切

よそから見えた人から津奈木の人はみなニコニコして感じがいいと言われたことがあります。こんななにかと笑顔は見たことがないと。やつぱり一番の宝は『ひと』だと思えますね。その人間力をいかに結集させていくのかが大事だと思います。行政としては町づくりの考え、方向性は示すけれども、それを実現していくのはやつぱりみんなの力だと思えます。町民一人ひとりが友達・パートナーであるという感覚。誰かが声をかけたら集まってくれる。みんなでやろうという気持ち。これが一番理想なんじゃないかと思えます。みんなが助け合うというところ。現代社会が失いつつあるこのお互いを助け合う精神こそが一番美しく、そしてこれから大切にしていかなくてはならないものだと思えます。

小さなことの積み重ねが町をつくっていく

いろいろな課題、テーマはありますが、具体的には小さなことの積み重ねだと思えます。その前提としてはやはり財政基盤の堅持ですね。財政基盤を堅持しつつ、これまで取り組んできたことを継続・発展させながら、その時代に応じた施策をやっていくことが大切だと思います。具体的には町の伝統や佇まいを守っていくこと。それは眼鏡橋であつたり伝統芸能であつたり、あるいは生活そのものであるかもしれない。そして美しい自然環境。これを次の世代に残していくかなければならない。また、日本でも一流の美術品が町にあることも誇りにしたいと思っています。地味かもしれませんが、このようなことを大切にしていくことが最終的には津奈木人としての誇り、町の存在意義につながっていくんだと思えます。そして最終的には町に住むすべての人が幸せであること、その幸せの集合体としてこの津奈木町が存在していくことが私の願いです。そのためにも今後みんなと力を合わせて頑張っていきたいと思っています。